NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞となかよくなろう

2．学校名

大阪府大阪市立西九条小学校

3．実践者名（代表者名）

角森久美子

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　30人

6．単元（本時の学習課題）名

「詩を書こう」

7．目標（狙い）

新聞の中から見つけた、お気に入りの写真をもとに、想像をふくらませて詩を書く。

8．評価の視点

写真から、想像をふくらませて、リズミカルな詩を作ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「詩を書こう」(教科書教材:学校図書)　　[国語科　2時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)教材文「詩を書こう」を読み、学習のめあてをもつ。(1/2時間)
(2)新聞の中から、お気に入りの写真を選ぶ。(1/2時間)
(3)選んだ写真をもとに、想像をふくらませ、言葉を精選して詩を書く。(1時間)

(留意点)
・新聞の中から興味をもった写真をいくつか選び、その中から詩を書きたいと思う写真を1枚選ぶよう助言する。
・この学習をする以前に、教科書掲載以外の詩をたくさん紹介し、音読して楽しむ時間をもつ。
・自分で書いた詩を何度も音読し、推敲する。
・友だちの詩を聞き、よいところを発見しあう。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「一枚の写真から想像をふくらませて、楽しい詩を作れてよかった。」「新聞に写真がたくさん載っていて、びっくりした。おもしろかった。」「友だちの詩を聞いて、楽しかった。」など、楽しんで活動できた。これまでに読んだ詩を参考にしている児童も多くいたが、それぞれに自分らしい詩を作ることができ、有意義な学習となった。

12．成果と課題

大人の新聞の中から、写真を選び、それをもとに詩を書いた。新聞の中には、カラーのきれいな写真がたくさん載っていることを知り、新聞に親しみを感じたようである。
これまでに、教科書掲載以外の詩をたくさん、音読したり暗唱したりしてきたので、抵抗感無く様々な詩をつくることができた。今後も、いろいろな形で新聞を教材として使っていきたい。